



# 日経平均が6万円台乗せ

4月27日、日経平均株価が終値で6万円の大台に乗せました。

中東情勢が依然不透明ななかで株価が上伸した要因や、今後の注目点、注意点についてみておきましょう。

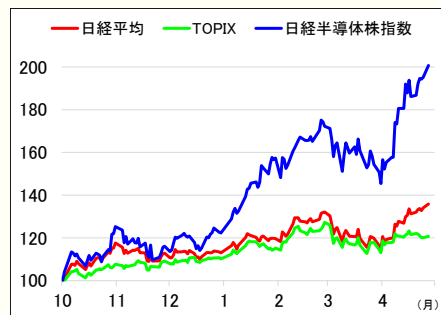
## <POINT>

- 日経平均株価が終値で初の6万円台に
- 業績期待の高い半導体関連株がけん引役
- 市場は中東情勢楽観視もホルムズ海峡封鎖長期化はリスク

## 半導体関連株が日経平均を押し上げ

- 4月中旬以降、日経平均株価が史上最高値を更新しており、27日には終値で初めて6万円の大台に乗せました。米ハイテク株の上昇を受け、AI・半導体関連株が上昇していることが主因です。
- このところ半導体関連銘柄の上昇が顕著で、日経半導体株指数の4月（～27日）の上昇率は4割近く、年初来では6割を超えています。背景には旺盛なAI向け需要に支えられた堅調な業績や、先行きの高い増益期待があります。
- 半導体関連銘柄の寄与が大きい日経平均株価は最高値を更新していますが、市場全体の値動きに近いTOPIXは2月の高値を超えていません。半導体一極集中的な面があり、今後、物色に広がりが出るかが一つの注目点です。
- 中東情勢は依然不透明ですが、7日の米イラン停戦合意以降、株式市場は楽観的です。27日はイランが米国に新提案をしたことも株価を押し上げました。一方で、国内ではすでに一部石油由来製品の供給が不足するなど、ホルムズ海峡封鎖が長引くと経済活動全体に影響が出る恐れもあります。楽観的な市場の見方が外れた場合、半導体関連銘柄を含めた日本株全体が調整する可能性もあります。

【株価指数の推移】



※日次、2025/10/1 = 100、2025/10/1～2026/4/27  
(出所) QUICKよりちばぎんアセットマネジメント作成

※上記は過去の情報または作成時点の見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

- 本資料はちばぎんアセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。
- 本資料に記載された当社の意見ならびに予測は資料作成時点のものであり、予告なしに変更することがあります。また、本資料は当社が信頼できると考える情報源から得た各種データなどに基づいて作成されていますが、その情報の正確性および完全性について当社が保証するものではありません。本資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなされるようお願いいたします。
- 本資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。